

みかみねこうえん

三神峯公園

750本を超えるサクラが順に満開を迎える

サクラの名所として有名な、面積約8.5haの公園です。サクラの始まりは、大正5年に西多賀村村長・小畑忠次郎氏が、源義家が多賀神社に参詣した史実にちなみ、数百本のサクラを植栽したことによります。これらのサクラは、小畑村長の次男が大学の指導を受けながら、全国から特殊な苗木や種子を取り寄せ、

神社所有地の畑で育苗して植えたのが成功したものです。750本を超えるサクラは、満開になる時期がそれぞれ異なり、長期間花を楽しめます。また、三神峯公園は、縄文時代の大規模な集落の遺跡や、旧陸軍幼年学校跡地の記念碑があることでも知られています。一年を通して市民の憩いの場になっています。

三神峯の四方にあふるる桜かな
八重桜しだれに鬱金と幾度も
友と訪ねる三神峯公園

羽田絹枝

大泉京子



▲ソメイヨシノ(撮影:椎野健作)



▲エドヒガンとヤエベニシダレ
(撮影:椎野健作)

▼秋には黄葉が楽しめる
(撮影:赤間学)



ひとことメモ

サトザクラ、ソメイヨシノ、ヤエザクラ、シダレザクラなど、早咲きのサクラから遅咲きのサクラまで、約1か月間にわたって楽しむことができます。

アクセスガイド

仙台駅西口バスプール7番のりばより宮城交通バス「山田自由ヶ丘行」などに乗車、「西多賀一丁目西/三神峯公園入口」下車。徒歩3分

●所在地：太白区三神峯一丁目

太白区マップE

